

### 旧第二学校給食センター及び旧トレーニングセンター跡地の活用について

勝又 勝 議員

○ 当該跡地については、企業誘致の種地など民間活用を図るため、公募型プロポーザルを実施することとなりましたが、2者から応募があったものの、後に中止となった理由を伺います。

○ 2者ともに、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、業績が落ち込み、事業の拡大を見合わせたことなどにより進出を断念したとことです。

○ 既に新たな募集が開始されていますが、募集要項の改正点を伺います。

○ 新型コロナウイルス感染症の影響等を考慮し、募集に関する緩和措置として、工事着工までの期間を2年以内、事業開始期限を3年以内とし、それぞれ1年延長しました。また、常用雇用の正社員数の最低基準を新設企業10人以上、市内再投資企業5人以上

### 道路行政について

葛山 繁隆 議員

○ 鎌ヶ谷大仏交差点改良事業の概要と進捗状況を伺います。

○ 事業延長は約400メートルで、両側に3・5メートルの歩道を整備し、歩道を含めた幅員は14・5メートルとなります。また、4方向とも右折レーンを設置し、交差点部の幅員は17・5メートルとなります。県では平成12年度より用地取得を開始し、約8割が取得済みであり、県道市川印西

○ 交差点西側の区間では、右折レーンが未整備ですが、右折をしやすくするために交差点へ進入する車線を広く取り、暫定的な右折レーンと滞留スペースの整備を行っています。なお、令和元年度に銀行の

### 動物愛護施策について

鈴木 哲也 議員

○ 飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費助成事業の実績数が大幅に増加していることに伴い、獣医師会の方の労力や財政面の負担も大きいと伺っています。負担を軽減していく必要があると考えますが、見解を伺います。

○ 本事業は毎年キャンセル待ちの方が出るなど、要望の高い事業となっており、また、飼い主のいない猫は、病院に運ばれた時点で感染症などを

○ 保持していることも多く、手術後に病院施設内の消毒作業を要することからも、手術件数が増えたことで、獣医師の方の負担も増えていると伺っています。市では、今年度助成金の単価の見直しを行い、予算の増額を行ったところですが、今後も獣医師会と協議しながら、当該事業が安定的に実施できるよう努めていきます。



現在の跡地

としていたものをもとに6割とし、残りの4割については市内に居住する労働時間が週20時間の臨時雇用者を正社員1人とみなすこととしました。



大仏交差点西側区域

### 当市における今後のPCR検査の拡充をはじめとする「新型コロナウイルス感染症」の方向性を問う

津久井 清 氏 議員

○ 本市における12月6日現在の人口10万人当たりの新型コロナウイルス感染者数は12名で県下で多い方から9番目です。65歳以上の高齢者と60歳から64歳で基礎疾患のある方に対して無料でPCR検査の実施や、2万円を上限に検査費用を補助している自治体がありますが、本市でも行っていたりませんか。

○ PCR検査は一時的な安心感を得られますが、検査後にも感染の可能性が消えるものではなく、市内の医療体制が逼迫しないことを基本に考え、現時点で検査対象を拡大する予定はありません。最も有効に経費を活用できる方法として、まずは介護施設での感染防止に注力し、感染拡大



### 施行後、20年目を迎えた介護保険制度について

松原 美子 議員

○ 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の第1期から第7期までの保険料の基準額の推移について伺います。

○ これまで当該計画に基づき、3年ごとに見直しを行い、第1期の基準額は2千800円で、第7期は5千270円となり、毎改定ごとに増額しており、制度発足時と比較すると2千430円の増、率にして85・6%の増となっています。なお、この間の65歳以上の高齢者人口は、平成12年10月で1万1千487人、令和2年同月時点で3万1千271人と、1万9千784人の増、率にして172・2%の増となっています。



高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(第1期～第7期)

### 個人のふるさと納税の現状と課題

徳野 涼 議員

○ 本市のふるさと納税の受入額の県内順位はどの程度ですか。

○ 令和元年度は、県内54市町村中、少ないほうから4番目です。

○ 受入額は県内最低レベルで少なく、流出額も大きいです。

○ 現状について、どのような課題があると認識していますか。

○ 制度上の課題として、ふるさと納税は自分の生まれたふるさとなどを応援する趣旨で始まったため、本市のような都市部にある自治体は、流入額が多くなります。次に、返礼品見直しの課題として、導入当初の目的を本市のPRと魅力の発信を強化する手段と設定し、寄附金額の増加を主たる目的としていませんでしたが、県内でも寄附金額の受入れが少ないという状況を踏まえ、さらなる返礼品の追加等を行っていく必要があると認識しています。

### コロナ禍で懸念される教育現場の課題と本市の対応策、今後の方向性について

河内 一朗 議員

○ 近隣市ではコロナ禍においても学校行事を工夫して実施していますが、本市ではどのような工夫や努力をしていますか。

○ 教育委員会では、各学校が代替案を立案していく過程において、新型コロナウイルス感染症拡大防止策の相談を受けて、助言を行っています。児童生徒がそれぞれの活動を安全に行えるよう、学校と協力しながら、知恵を振り絞って、少しでもリスクを軽減して実践できるよう努めています。

### 北千葉道路について

佐竹 知之 議員

○ 北千葉道路が事業化された場合の建設費の総額を伺います。

○ 現時点では事業主体も決まっていない状況であり、今後の事業化の進展の中で明らかにするものと考えています。

○ 道路問題で市民の一番強い要望は既存道路の整備と考えますが、市の見解を伺います。

○ 船橋我孫子バイパス線をはじめとする市内の県道の整備については、管理者である千葉県に要望しているところであります。

### 市民の安全安心の暮らしのための対策について

伊福 幸一 議員

○ 第四中学校通学路・市道29号線と北部小学校通学路・市道12号線の車のスピード対策として可搬式オービスの導入について見解を伺います。

○ 鎌ヶ谷警察署においても両路線は取締りの対象路線であるとの見解であるため、積極的に要望していきます。

○ 市道29号線の安全対策として、防犯灯や子ども見守りカメラの増設について見解を伺います。

○ 防犯灯のLED化の完了、子ども見守りカメラの1台設置により、一定の抑止効果があったものと考えています。増設については今後の状況を見て検討していきます。

○ 振り込め詐欺対策電話機



市道29号線の安全対策

○ 近隣市の導入状況や効果等の情報収集を行うなど、調査研究を進めていきます。

○ 多額の事業費を要する北千葉道路建設は「凍結」し、見直すべきと考えますが、市の考えを伺います。

○ 北千葉道路の整備は、本市の長年のまちづくりの課題である慢性的な交通渋滞を解消させ、市民生活の向上及び市の発展に大きく寄与するものと考えています。

○ 多くの購入を補助する制度や振り込め詐欺防止装置の無料貸し出し、配布などの実施について見解を伺います。